

別紙(1)、別送(1)

大洋リアルエステート株式会社

送信者: "大洋リアルエステート"
宛先: "三菱地所 木村社長" "三菱地所設計 大内副社長"
Cc: "三菱地所 飯塚副社長" "三菱地所 長島専務"
"三菱地所 檀野専務" "三菱地所 伊藤専務" "三菱地所 河野
"三菱地所 仲條様" "三菱地所 速水様" "三菱地所 小野
"三菱地所 駒田様" "三菱地所 岩本
"三菱地所 山本
"東銀リース 中西社長" "東銀リース 堀内社長"
"東銀リース 三田常務" "東銀リース
"東銀リース 伊藤常務" "東銀リース
"Chen,Kato社 加藤様" "堀内社長"

送信日時: 2010年5月20日 16:58
件名: 脅迫電話に関する件と4月13日並びに5月17日三菱様の謝罪に関する反論について
2010年5月20日

三菱地所株式会社
代表取締役 取締役社長
木村 恵司 様

株式会社三菱地所設計
取締役社長
小田川 和男 様

御堂筋共同ビル開発特定目的会社
取締役
見上 正美 様

2010年5月18日（前日のヒルトンホテルでのミーティングの翌日）

駒田室長が弊社にお越し頂いた際に、私が去る2010年5月9日18時6分、
何者かから私の携帯電話に脅迫電話を受けた事をお話致しました。
当方は過去数年以上、国内では裁判その他現在も三菱様以外は何のトラブルもなく
心当たりがないので、怪電話の相手に誰に依頼されたのか？と尋ねましたが答えがなく、
その為当方は三菱が鹿島に頼まれたのか？と尋ねましたが答えがありませんでした。
脅迫の要旨は、堀内に身の危険があるかも知れないから日本に来ない方が良いという忠告でした。
詳細は駒田室長に携帯電話の記録もお見せしてあるのでお聞きください。
脅迫のあった翌日5月10日大阪東警察に相談致しました。
警察担当者からは書面で出すよう言われておりますが、当方が多忙につき時間がとれず遅れておりま
す。
当然ながら三菱地所様、三菱地所設計、御堂筋共同ビル開発特定目的会社らの
現在のトラブルのことも警察にお話しせざるを得ません。
将来、東警察よりもし貴社に照会がありましたら事実をお話ください。
この脅迫怪電話に上記三社の方々に関係あるとは思いたくありませんが、
私の携帯電話番号や日常の行動も把握しているごく限られた範囲の者か、その関係者と思われま
す。木村社長様より関係者の方々に、このようなことがあったことをお伝え頂きたく要望申し上げます。

次に2010年4月13日のヒルトン大阪での第一回目のミーティングで
三菱地所様の岩本副社長は重大な嘘を証言されました。当方はその後、
理不尽な嘘を追及したところ、駒田法務室長は岩本氏の勘違いであったとの
詭弁を使った言い分けの文書（2010年4月19日付Eメール）を送ってこられました。
また先日の5月17日の第二回目のミーティングでも口頭で上記の謝罪を言明されています。
ところがこれらの勘違いについては、今回の重大な会議の核心部分の一部であり、
しかも岩本氏だけでなく塩出氏まで岩本氏と同じ証言をされています。
以上のことから、これらの嘘の証言は、単なる勘違いではなく悪意のある嘘であり、
従って当方はこれらの謝罪を承認していない事を再確認しておきます。
これらは2010年5月18日に駒田法務室長が弊社にお見えになった時に書面をお見せして確認してござ
います。
以上、上記二点は記録の為Eメールにて送付致します。

地主
 大洋リアルエステート株式会社
 代表取締役社長
 堀内 正雄

cc: 三菱地所株式会社

代表取締役	副社長執行役員	飯塚	延幸	様
代表取締役	専務執行役員	長島	俊夫	様
代表取締役	専務執行役員	壇野	博	様
代表取締役	専務執行役員	河野	雅明	様
代表取締役	専務執行役員	伊藤	裕慶	様
常務執行役員		小野	真路	様
都市開発事業部長		仲條	彰規	様
都市開発事業部	副長	岩本	洋介	様
都市開発事業部	主事	速水	徹	様
開発企画室	副室長	山本	勝則	様
法務室	室長	駒田	久	様
法務室	主事	杉山	昌徳	様

東銀リース株式会社

代表取締役社長	中西	泰比古	様
常務取締役	臼田	恵二	様
常務取締役	三田	憲之	様
常務取締役	荒井	敏明	様
常務取締役	伊藤	道生	様
金融サービス部長	浅田	博	様

Chen, Kato&Partners PTE LTD

堀内 正雄